

セーフコミュニティ かめおか

— けがや事故を予防しよう —



セーフコミュニティとは…

セーフコミュニティ（SC）とは、WHO（世界保健機関）SC協働センターが推進する「けがや事故などは偶然の結果ではなく、予防することができる」という理念に基づいて、予防に重点を置き、地域社会全体で進める安全安心なまちづくりの取り組みや、それを行う地域のことです。

TOPICS

1. ゲートキーパーステップアップ研修
2. 「セーフコミュニティ特別功労賞」を栗山市長が受賞
3. インターナショナルセーフスクール認証校認定
4. 特集① SCモデル地区「河原林町自治会」の取り組み
5. 特集② セーフコミュニティかめおか 対策委員会とは

◇問い合わせ先◇

亀岡市総務部安全安心まちづくり課
 電話：0771-25-5097
 FAX：0771-24-5501
 E-mail:1sc2008@city.kameoka.kyoto.jp

ゲートキーパーステップアップ研修

～自死遺族の思いを知る～

8月21日、亀岡市役所で、「ゲートキーパーステップアップ研修」が開催されました。

セーフコミュニティかめおか 自殺対策委員会では、自殺を防ぐためには、悩みを抱えている人に早期に気付くことが必要との意見があり、すでにゲートキーパー研修を受けた民生委員や福祉関係者などのより深い気付きを促そうと開催したものです。

講師として、自死遺族の方を招き、実際の事例をもとにどういった対応が考えられるかをディスカッションしました。参加者からは、早期発見の難しさを感じながらも、こんな対応が考えられるのではないかと様々な意見が活発に交わされていました。



〔自死遺族の方からの講演〕



〔ディスカッションの発表〕

「セーフコミュニティ特別功労賞」を栗山市長が受賞

SCを支援する「日本セーフコミュニティ推進機構」では、SCの推進に功績が大きかった人を表彰する「セーフコミュニティ功労賞」を設けています。

今回は、日本初のSC認証を取得し、日本にSCを広める先駆けとなった功績に対し、10月3日、「セーフコミュニティ特別功労賞」が、栗山市長に贈られました。

栗山市長は、今までのSCのあゆみを振り返り、「市民の皆様の多大な協力に対し、心より感謝します」と述べました。



〔代表理事の白石さんより授与〕



〔栗山市長のお礼のあいさつ〕

特集① SCモデル地区「河原林町自治会」の取り組み ～泉大津市自治会連合会からの視察～



8月24日、セーフコミュニティに取り組み始めた泉大津市の自治会連合会から、亀岡市の自治会がどのようにセーフコミュニティに取り組んでいるかを学ぶため、33名の役員の方々が視察に来られました。

まずは、安全安心まちづくり課から亀岡市のセーフコミュニティの概要について説明したあと、モデル地区の1つである河原林町自治会 茨木自治会長が、平成26年度から取り組んでいる「河原林町まちづくり計画」

について、作成経過や内容について説明されました。

この計画は、行政がつくる総合計画のいわば地域版であり、検討会議やアンケートを1年半繰り返した中で、安全安心なまちづくり、子育てなど五つの柱を立て、それぞれで短期・中期・長期に分けた具体的施策を記したものです。

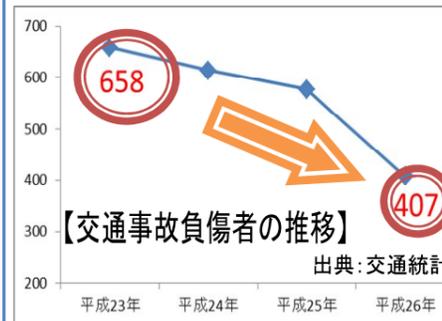
泉大津市の皆さんも興味深く話を聞いておられました。



特集② セーフコミュニティかめおか 対策委員会とは ～交通安全対策委員会を紹介します～

亀岡市では、①交通事故負傷者は年間600人以上と多い、②高齢者が関わる交通事故が急増、③10歳代の自転車事故が増加傾向という3つの背景から、「セーフコミュニティかめおか交通安全対策委員会」を設置しました。

委員は、亀岡交通安全協会や亀岡警察署、亀岡市老人クラブ連合会、亀岡地域交通安全活動推進委員協議会などに所属する9人で構成されています。



市内の交通事故減少に向けて、高校生の自転車マナーアップ活動、高齢者への反射材配布などの取り組みを行っています。交通事故による負傷者は、対策委員会設置（平成23年度）時より**38.1%減少**していますが、高齢者の事故が中々減少しないことから、平成27年度は亀岡市高齢者運転免許証自主返納制度を創設するなど、特にその対策について検討を行っています。

交通安全対策委員会 中尾 臣裕委員長

（（有）楠新聞舗 代表取締役）よりコメント



今年度、委員会運営を行うにあたり委員長として心がけていることは、委員の皆さんから多くの意見を出して頂ける会議にすることです。各地域や諸団体で取り組まれている事例を参考に、この委員会で何が出来るかを議論いただいています。職業柄、私自身も広報活動に日々取り組んでいますが、委員の皆さんと共により多くの方へ、交通安全の大切さを広められるよう、取り組んでいきたいです。

インターナショナルセーフスクール(ISS)認証校認定

平成27年10月3日

ISSに取り組む亀岡市立曾我部小学校、社会福祉法人 倣^{ほう} 会 亀岡あゆみ保育園、亀岡市立保育所8カ所（本梅、東本梅、川東、中部、東部、第六、別院、保津各保育所）が、10月3日に認証式及びシンポジウムを開催し、晴れてISS認証校となりました。



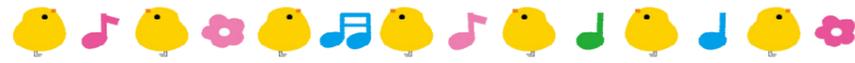
ISS 認証校となるためには？

ISS 認証校になるためには、ISS 認証センターと学校や保育所に関わる皆さんとが合意書を交わす必要があります。

合意書には、「外傷をなくし、安全を向上させるため取り組みを継続的に推進します。この取り組みは、子ども・職員を含む保育・教育に関わる全ての人及び場を対象とします。(抜粋)」との内容が記載されています。



認証式の様子



<午前> 曾我部小学校 ISS 認証式

曾我部小学校体育館



審査員パイ・ル先生による合意書朗読



学校長・地域代表・PTA・児童代表などで合意書に署名



認証旗と認証盾の授与



曾我部町自治会長などからの祝辞



児童会によるISS取組のあゆみ



子どもが主役新たなステージへ

<午後> 9園合同ISS認証式及びシンポジウム

認証式



亀岡あゆみ保育園の認証旗・認証盾授与



亀岡市立8園の合意書署名



9園を代表して川東保育所長のあいさつ



ISS認証審査員、亀岡市長より記念品の贈呈

ガレリアかめおか



亀岡市自治会連合会などからの祝辞



9園を代表して亀岡あゆみ保育園児よりお礼

シンポジウム

このシンポジウムは、今までの取組を子どもたちと一緒に発表し、その成果を皆さんと共有することを目的として開催しました。



9園が進めてきたISSの取組発表



亀岡市立保育所4園の園児による取組発表



亀岡あゆみ保育園児による体づくりの取組発表

ISS宣言

私たちは、ISSの取組みの中で、**見つけ、学んだ方法**をもとに、子どもたちが自ら育ち、学ぶことのできる環境づくりを進めます。

保護者や地域の皆さまとのつながりを大切にし、子どもたちが健やかに安心して過ごせる保育所を今後も目指すことを宣言します。

